

## 令和4年度長久手市多文化共生推進に関する重点施策について

## 1 外国人コミュニティ及びキーパーソン調査

## (1) 現状

長久手市多文化共生推進プラン策定や長久手市国際交流協会事務局の独立により、多文化共生推進に関する取組が以前に比べて充実してきた。現在、N I A集いの広場において、外国人が気軽に集えるようイベントや相談窓口を実施しているが、新規で参加する外国人が少ない。今後は、様々な取組を効率的に外国人市民に届けるかが課題である。

## (2) 事業内容

## ア 愛知県立大学との連携事業

愛知県立大学学生におけるアンケート調査を実施。外国人が集まる場所や集いやすいイベント内容、情報収集方法を調査する。

## イ N I A集いの広場でのイベント

外国人にヒアリングし、母国の文化や料理を振る舞うイベントを開催。他国籍同士の交流にもつながるような内容を検討。

## 2 小中学生に対するプレクラス実施の検討

## (1) 現状

本市の外国人児童生徒数は年々増加し、それに伴い、日本語指導が必要な児童生徒も増えている。現在、長久手市国際交流協会が日本語学習ボランティアを学校に派遣し、学校生活が楽しく過ごせるように支援している。サポートが必要な児童生徒は昨年度5人だったが、今年度は8人となっている。これ以上、人数が増加し続けると現スキームでの対応が限界を迎える。

## (2) 事業内容

## ア 先進地への視察

各市町の外国人児童生徒の状況等によってプレクラスの実施方法が異なるため、参考となる様々なプレクラスを視察し、情報を収集する。

## イ プレクラス実施方法の検討

先進地での情報をもとに教育委員会と共有し、本市に合う実施方法を検討する。